

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月18日 (2016.2.18)

【公表番号】特表2015-502969(P2015-502969A)

【公表日】平成27年1月29日 (2015.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2015-006

【出願番号】特願2014-548052(P2014-548052)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/84 (2006.01)

B 0 1 J 13/16 (2006.01)

A 6 1 K 8/11 (2006.01)

A 6 1 Q 13/00 (2006.01)

A 6 1 Q 15/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/84

B 0 1 J 13/16

A 6 1 K 8/11

A 6 1 Q 13/00 1 0 0

A 6 1 Q 13/00 1 0 2

A 6 1 Q 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月21日 (2015.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

香料含有オイルコアを取り囲み、カプセル化するポリマーシェルを含むコアシェルカプセルであって、カプセルの平均直径 (D 5 0) が 5 ~ 2 5 0 ミクロンであり、カプセルが、2 ミリニュートン (m N) 未満の破裂力のもとで、破裂し、コアに含まれる香料を放出するように適用されたものであり、香料含有オイルが、水との界面を形成することができ、オイル - 水界面での界面張力が、5 ~ 4 0 ミリニュートン (m N) であることを特徴とする、前記カプセル。

【請求項 2】

界面重合のプロセスによって、香料含有オイル液滴のまわりのポリマーシェルの形成によって形成される、請求項 1 に記載のカプセル。

【請求項 3】

ポリマーシェルが合成ポリマーから形成される、請求項 1 または 2 に記載のカプセル。

【請求項 4】

ポリマーシェルが、ポリウレア、ポリアミド、または有機および無機モノマーまたはオリゴマーの混合物から形成されるハイブリッドポリマーである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のカプセル。

【請求項 5】

ポリマーシェルが、架橋されたものである、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のカプセル。

【請求項 6】

消費者製品を香り付けするための、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のカプセルの使用。

【請求項 7】

消費者製品の臭気物質特性を付与、促進、改善または改良する方法であって、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のカプセルを該製品に加えることを含む、前記方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のカプセルを含むヒトまたは動物の皮膚または髪を芳香させるための消費者製品。

【請求項 9】

界面重合のプロセスによって香料含有オイル液滴の周りにポリマーシェルを形成する工程を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のカプセルを形成する方法。

【請求項 10】

香料含有オイルが、水と界面を形成することができ、オイル - 水界面での界面張力が、5 ~ 35 ミリニュートン (mN) であるということに基づいて選択される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

カプセル化される香料、および界面重合によるカプセルシェルの形成において反応物として好適な、モノマーまたはオリゴマーを含む、オイル相を形成する第一工程；

オイル相を水性連続相で分散または乳化させ、ここで分散または乳化された液滴が、形成されるカプセルの実質的なサイズである、第二の工程；

オイル相に含まれるモノマーまたはオリゴマーのための反応物として適するモノマーまたはオリゴマーを、分散または乳化する水性相に添加し、分散または乳化させたオイル相の周りにカプセルシェルを形成させる 2 つの成分間の界面反応を生じさせる、第三の工程を含む、請求項 9 または 10 に記載の方法。